

AccessControl+プラグイン

はじめに

AccessControl+プラグインは、ブログに閲覧制限の機能を追加するプラグインです。

プラグインについて

機能

- プラグインの設定を行い再構築することでブログに閲覧制限の機能を追加することができます。
- ビルドされる拡張子htm、html、phpのファイルにPHPで記述された閲覧制限コードが挿入されます。
- サインインしたユーザーの認証方式と権限がプラグインの設定に含まれた場合に閲覧が許可されます。
- mt-search.cgiを利用した検索においても閲覧可能なブログ/サイトのみの検索に制限されます。
- プラグインが提供するタグもPHPのコードに展開され、サインインしたユーザーに応じた動的な値を出力します。
- スタティックパブリッシング/ダイナミックパブリッシングの両方に対応します。

対応バージョン

- Movable Type 4.2以上
- Movable Type 5.0以上

動作条件

- Movable Type コミュニティ・ソリューション(Movable Typeに標準添付されています)
- スタティックパブリッシングのみを利用する場合でも、あらかじめダイナミックパブリッシングが動作する環境(PHP5.0以上)が必要となります。
- Movable Typeが出力する拡張子htm、html、phpのファイルが、PHPで処理されるようWebサーバーの設定を行っていただく必要があります。

インストール

本パッケージに含まれる「plugins」ディレクトリ内のディレクトリ

「AccessControl」を、Movable Typeインストールディレクトリの「plugins」ディレクトリの下にコピーしてください。

次に、本パッケージに含まれる「mt-static/plugins」ディレクトリ内の

「AccessControl」ディレクトリを、スタティック・ディレクトリ（環境設定ファイルmt-config.cgiにおいて「StaticWebPath」として指定したディレクトリ）の

「plugins」ディレクトリの下にコピーしてください。

結果、次のような構成になります。

```
mt (Movable Type インストールディレクトリ)
|-- plugins
    |-- AccessControl
        |-- lib
            |-- AccessControl
                |-- L10N
                    |-- en_us.pm
                    |-- ja.pm
                |-- ContextHandlers.pm
                |-- L10N.pm
                |-- Plugin.pm
            |-- php
                |-- accesscontrol.php
                |-- function.mtaccesscontrolsignouturl.php
                |-- function.mtaccesscontroluserauthtype.php
                |-- function.mtaccesscontrolusername.php
                |-- function.mtaccesscontroluserpermission.php
                |-- init.accesscontrol.php
            |-- tmpl
                |-- blog_config_template.tmpl
                |-- system_config_template.tmpl
        |-- mt-accesscontrol.pl
mt-static (スタティック・ディレクトリ)
|-- plugins
    |-- AccessControl
        |-- docs
            |-- accesscontrol.html
            |-- mtdocs.css
```

作業後、Movable Typeのプラグイン設定画面を表示し、プラグインの一覧に

「AccessControl+」が表示されていることを確認してください。これでインストール完了です。

システム設定

ファイルダウンロードの制限について

ウェブサーバーとしてApacheを使用している場合、mod_rewriteモジュールの機能を利用した設定を行うことで、画像やドキュメントなどファイルのダウンロードを制限することが可能です。

システム・モードまたはブログ・モードのプラグイン設定画面で、ブログの閲覧制限を

「利用可能」にして「変更を保存」ボタンを押すと、閲覧制限を行うブログのサイトパスに「acdl.php」というファイル名のダウンロードスクリプト（ファイル名はブログ毎のプラグイン設定で変更可能です）が作成されます。

ファイルダウンロードの制限を行う場合には、制限をかけたいファイルがこのダウンロードスクリプトを通してアクセスされるようmod_rewriteモジュールの設定を行ってください。

例として、ブログのサイトパス(/path/to/blog_site_path)以下にある、画像ファイル(jpg, gif形式)と動画ファイル(mp4形式)に対して制限をかけたい場合には、次の内容の.htaccessファイルをサイトパスに作成します。

```
RewriteEngine on
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} -f
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} ^.*\.(jpg|gif|mp4)$ [NC]
RewriteRule ^.*$ /path/to/blog_site_path/acdl.php [L]
```

制限をかけるファイルの種別（拡張子）を増やしたい場合には、4行目の拡張子の指定を追記してください。

mod_rewriteモジュールの設定次第では、拡張子以外にも、特定のファイル名や特定のディレクトリ名で制限をかけたりなどの複雑な条件を設定することも可能です。詳しくはApacheならびにmod_rewriteモジュールのドキュメントを参照してください。

MT5.0～MT5.02で報告されている問題について

Movable Type 5.0～5.02では、Movable Type自身の問題により、そのまま当プラグインを設置した場合、検索そのものが利用できなくなります。

このMovable Typeの問題は次のサイトで報告されています。

[FogBugz 104143: FB: Issue after search blog list callback runs](#)

既にリリースされているMovable Type 5.0～5.02を含め、この問題が解決されるまでは、当プラグインを利用されるにあたり、Movable Type本体のコード1行に修正を行っていただく必要があります。

変更するファイルについての情報は次の通りです。

- Movable Type 5.0 / 5.01
lib/MT/App/Search.pm 163行

変更前

```
$app->{searchparam}{IncludeBlogs} = keys %$list if ($list && %$list);
```

変更後

```
$app->{searchparam}{IncludeBlogs} = [keys %$list] if ($list && %$list);
```

- Movable Type 5.02
lib/MT/App/Search.pm 166行

変更前

```
$app->{searchparam}{IncludeBlogs} = keys %$list
```

変更後

```
$app->{searchparam}{IncludeBlogs} = [keys %$list]
```

変更するファイルは必ずバックアップをとってから作業するようにしてください。

プラグインの設定(システム)

 **AccessControl+ 1.00** ✔ 利用可能

[詳細](#) [リソース](#) [設定](#)

閲覧制限

閲覧不可時に表示するURL

権限

コンテンツタイプ

閲覧制限

システム全体の閲覧制限の切り替えを行います。

設定値

利用不可

システム全体の閲覧制限を行いません。

利用可能

システム全体で閲覧制限を行います。

デフォルト

利用不可

閲覧不可時に表示するURL

ユーザーが閲覧不可と判定された場合に表示するURLを指定します。

設定値

閲覧不可時に表示するURL

未入力時にはMovable Type標準のサインインページが使われます。

デフォルト

未入力

権限

サインインにMT認証を利用した場合に、閲覧を可能とする権限を指定します。権限は複数指定することができます。

ここで指定した権限とユーザーの持つ権限に1つでも一致する権限があればアクセスが許可されます。

設定値

閲覧を許可する権限を指定します。一般的な権限については「[権限について](#)」をご参照ください。

未入力時には「comment」として扱われます。

デフォルト

未入力

コンテンツタイプ

ダウンロードスクリプトを用いてブログ/サイト内の任意のファイルに閲覧制限を行う場合に、ダウンロードスクリプトが用いるMIMEタイプの設定を行います。

設定値

拡張子別のMIMEタイプを記述します。1つの拡張子ごとに1行で記述します。

[拡張子]:[MIMEタイプ]

該当しない拡張子のファイルは application/octet-stream として扱われます。

デフォルト

未入力

プラグインの設定(ウェブサイト) ※MT5のみ

閲覧制限

▲注意: このオプションを変更した場合には全てのブログの再構築が必要です。

閲覧不可時に表示するURL サインアウト後に表示するURL 権限 ダウンロードスクリプト

▲警告: ダウンロードスクリプトのファイル名を変更した場合は、リダイレクト設定を確認してください。

ダウンロードスクリプトのファイル名を入力してください。ファイルはサイトパス以下に生成されます。

コンテンツタイプ

変更を保存

閲覧制限

ウェブサイトの閲覧制限の切り替えを行います。

設定値

システムのプラグイン設定に従う

システムのプラグイン設定に従います。

利用不可

このウェブサイトの閲覧制限を行いません。

利用可能

このウェブサイトの閲覧制限を行います。

デフォルト

システムのプラグイン設定に従います。

サインアウト後に表示するURL

サインアウト後に表示するURLを指定します。

サインアウトはMTAccessControlSignOutURLタグが出力するURLを用いて行う必要があります。

設定値

サインアウト後に表示するURL

未入力時にはウェブサイトのサイトURLが使用されますが、結果的にサインインページに遷移します。

デフォルト

未入力

ダウンロードスクリプト

ファイルダウンロードを制限するスクリプトのファイル名を指定します。

設定値

スクリプトのファイル名を指定します。ディレクトリ名は含めないようにしてください。

デフォルト

acdl.php

閲覧不可時に表示するURL

権限

コンテンツタイプ

システムのプラグイン設定での項目と同じ内容です。ウェブサイトの設定はこちらが優先されます。省略時にはシステムのプラグイン設定の値が使用されます。

プラグインの設定(ブログ)

閲覧制限 閲覧不可時に表示するURL サインアウト後に表示するURL 権限 ダウンロードスクリプト

▲ 警告: ダウンロードスクリプトのファイル名を変更した場合は、リダイレクト設定を確認してください。

ダウンロードスクリプトのファイル名を入力してください。ファイルはサイトパス以下に生成されます。

コンテンツタイプ

変更を保存

初期化

閲覧制限

ブログの閲覧制限の切り替えを行います。

設定値

システム/ウェブサイトのプラグイン設定に従う

MT4ではシステム、MT5ではウェブサイトのプラグイン設定に従います。

利用不可

このブログの閲覧制限を行いません。

利用可能

このブログの閲覧制限を行います。

デフォルト

システム/ウェブサイトのプラグイン設定に従います。

サインアウト後に表示するURL

サインアウト後に表示するURLを指定します。

サインアウトはMTAccessControlSignOutURLタグが出力するURLを用いて行う必要があります。

設定値

サインアウト後に表示するURL

未入力時にはブログのサイトURLが使用されますが、結果的にサインインページに遷移します。

デフォルト

未入力

ダウンロードスクリプト

ファイルダウンロードを制限するスクリプトのファイル名を指定します。

設定値

スクリプトのファイル名を指定します。ディレクトリ名は含めないようにしてください。

デフォルト

acd1.php

閲覧不可時に表示するURL

権限

コンテンツタイプ

システム/ウェブサイトのプラグイン設定での項目と同じ内容です。ブログの設定はこちらが優先されます。省略時にはMT4ではシステム、MT5ではウェブサイトのプラグイン設定の値が使用されます。

タグの一覧

MTAccessControlSignOutURL

サインアウト処理を行うURLを出力します。

MTAccessControlUserNickname

閲覧中のユーザーの表示名を出力します。

MTAccessControlUserAuthType

閲覧中のユーザーが利用した認証方式を出力します。

MTAccessControlUserAuthType

閲覧中のユーザーがMovable Type認証を利用した場合に、ユーザーの権限を出力します。

複数の権限はカンマ区切りで出力されます。

Movable Type認証以外の認証方法を利用した場合には、何も出力しません。

これらのタグは、閲覧制限が無効であった場合や閲覧制限の対象とならないファイルで利用した場合には、何も出力しません。

グローバルモディファイアの利用

AccessControl+プラグインが提供しているファンクションタグには、Movable Typeが標準で提供しているグローバルモディファイアを利用することができます。利用できるグローバルモディファイアは次の通りです。

```
filters trim_to trim ltrim rtrim decode_html decode_xml remove_html dirify sanitize
encode_html encode_xml encode_js encode_php encode_url upper_case lower_case
strip_linefeeds space_pad zero_pad sprintf
```

注意事項

権限について

AccessControl+の設定で指定する権限は、認証方式と同じくMovable Type内部で利用されている形式で記述する必要があります。

Movable Type に標準で組み込まれている権限と、その記述方法は次の通りです。(※はMovable Type 5のみ)

ブログの権限(管理)

| 権限の名称 | 設定での記述 |
|-------------------|---------------------|
| ブログ管理者 | administer_blog |
| ブログの設定/設定の変更 | edit_config |
| 公開パスの設定 | set_publish_paths |
| カテゴリの管理 | edit_categories |
| タグの管理 | edit_tags |
| ログの閲覧 | view_blog_log |
| ウェブサイトと所属ブログの管理 ※ | manage_member_blogs |
| ウェブサイトの管理 ※ | administer_website |
| ユーザーの管理 ※ | manage_users |
| アドレス帳の管理 ※ | edit_notifications |

ブログの権限(作成と公開)

| 権限の名称 | 設定での記述 |
|----------------|--------------------|
| ブログ記事の作成/記事の作成 | create_post |
| ブログ記事の公開/記事の公開 | publish_post |
| 通知の送信 | send_notifications |
| すべてのブログ記事の編集 | edit_all_posts |
| ウェブページの管理 | manage_pages |

ブログの権限(デザインする)

| 権限の名称 | 設定での記述 |
|-----------|----------------|
| テンプレートの管理 | edit_templates |
| テーマの管理 ※ | manage_themes |

ブログの権限(アイテム)

| 権限の名称 | 設定での記述 |
|--------------|---------------------|
| アイテムの管理 | edit_assets |
| ファイルアップロード | upload |
| 画像に関する既定値の設定 | save_image_defaults |

ブログの権限(コメント投稿)

| 権限の名称 | 設定での記述 |
|-----------------|-----------------|
| コメントの送信/コメントの投稿 | comment |
| コメント/トラックバックの管理 | manage_feedback |

権限は追加することができるため、現在お使いのシステムで利用可能な権限は、ロールの編集([MT4/MT5](#))画面からブログ権限をご確認ください。

制限事項

登録 / 認証設定([MT4/MT5](#))においてユーザー登録を許可していない場合には、サインイン方式の設定に関わらず、Movable Type認証を用いたサインインでコメント権限(comment)を持たないユーザーには「権限がありません。」というメッセージを表示して、サインインが失敗します。

当プラグインでは、Movable Type認証を用いた場合のデフォルトの設定として、コメント権限(comment)が必要となるようにしていますが、ユーザー登録を許可していない場合、コメント権限を持たないユーザーはサインイン画面に戻り、閲覧不可時に表示するURLは表示されません。

デフォルトでは閲覧不可時に表示するURLがサインイン画面になっているため違いはありませんが、閲覧不可時に表示するURLを用意する場合にはご注意ください。

更新履歴

- [2010-04-xx : v1.00]
 - 最初のリリース

このプラグインの利用及び著作権について

このプラグインの著作権は作者である[エムロジック株式会社 / M-Logic, Inc.](#)が所有しています。著作権者の許可なく本プラグインを使用、改変、再配布することはできません。